

第 1 回
国体・障害者スポーツ大会推進協議会
資料

国体・障害者スポーツ大会局

令和元年 6 月 13 日（木）

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1 国体・障害者スポーツ大会の概要等 | 1 |
| (1) 両大会の概要 | |
| (2) 両大会の開催に向けた現状 | |
| 2 広報・県民運動事業等 | 3 |
| (1) 広報活動の展開 | |
| (2) 県民運動の推進 | |
| (3) ボランティアの養成状況 | |
| (4) 障害者スポーツ普及定着事業 | |
| (5) 文化プログラム | |
| 3 式典概要 | 7 |
| 4 競技施設の整備状況等（令和元年5月末現在） | 8 |
| 5 開催スケジュール | 9 |
| 6 いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実施本部 | 10 |
| 7 茨城国体・障スポ大会の新たな取り組み | 12 |

1 国体・障害者スポーツ大会の概要等

(1) 両大会の概要

| | | |
|------------|---|---|
| 大会名 | いきいき茨城ゆめ国体 (第74回国民体育大会) | いきいき茨城ゆめ大会 (第19回全国障害者スポーツ大会) |
| 目的 | 広く国民の間にスポーツを普及し、国民の健康増進と体力の向上を図り、地方スポーツの振興と地方文化の発展を図ることを目的とする。 | 障害のある選手が競技等を通じスポーツの楽しさを体験するとともに、多くの人々が障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的とする。 |
| 開催期間 | 令和元年9月28日(土) ～10月8日(火)【11日間】 会期前日程：令和元年9月7日(土) ～9月16日(月) | 令和元年10月12日(土) ～10月14日(月・祝)【3日間】 |
| 実施競技 | ○正式競技：37競技 ○特別競技：1競技 ○公開競技：5競技 ○デモンストレーションスポーツ：31競技 | ○個人競技：6競技 ○団体競技：7競技 ○オープン競技：6競技 |
| 新種目 | 水球(女子)、トランポリン、自転車ロード(女子) | 卓球(精神障害者) |
| 参加者数 | (選手・監督)約23,000人 | (選手・監督)約5,600人 |
| 式典出演者(著名人) | 【国体開会式】 令和元年9月28日(土)11:00～ 磯山純、城之内早苗、鈴華ゆう子、マシコタツロウ、渡辺徹、渡辺裕之 【国体閉会式】 令和元年10月8日(火)13:00～ 渡辺徹 | 【大会開会式】 令和元年10月12日(土)8:50～ 磯山純、田中玲子、NEVA GIVE UP、ねば～る君、渡辺徹、渡辺裕之 【大会閉会式】 令和元年10月14日(月・祝)15:00～ 石井竜也、磯山さやか |
| 観覧者募集 | 募集期間 平成31年4月24日(水)～令和元年6月28日(金) 抽選 令和元年7月16日(火) 募集人数 約5,000人／式典(4式典共通)※申込多数は抽選決定 | |
| スローガン | 「翔べ 羽ばたけ そして未来へ」 | |
| マスコット | いばラッキー | |
| イメージソング | 「そして未来へ」 作詞・作曲 兒玉苑香／編曲 大峯慶子／歌 磯山 純 | |
| 開閉会式会場 | 笠松運動公園陸上競技場 | |

(2) 両大会の開催に向けた現状

① 両大会における参加見込み数

先催県の実績等を踏まえると、両大会の開催期間中には数多くの選手団や大会関係者、観覧者等が来県することが見込まれている。

特に、全国障害者スポーツ大会では、ハンディキャップを持つ選手や観覧者等が多く来県することが見込まれている。

【参考 1】参加者数見込み（選手団、競技団体・報道などの大会関係者、観覧者を含む。）

| | |
|-------------|----------------------|
| 国体 | 11 日間で延べ 70 万人～90 万人 |
| 全国障害者スポーツ大会 | 3 日間で延べ 9 万人 |

※平成 30 年福井国体：605,086 人、福井大会：99,613 人

② 県民の認知度

平成 30 年度県政世論調査（平成 30 年 7 月実施）の結果によると、国体が本県で開催されることの認知状況は、平成 29 年度に実施した前回の調査に比べて 17 ポイント上昇し、71.6%という状況にある。

【参考 1】国体の認知度（参考 1～3 まで、平成 30 年度県政世論調査結果）

| | H28 年度 | H29 年度 | H30 年度 | H30—H29 |
|------------------------|--------|--------|--------|---------|
| 「国体も茨城県での開催も知っている」 | 41.6% | 54.6% | 71.6% | 17.0 |
| 「国体は知っているが、茨城の開催は知らない」 | 41.3% | 27.9% | 18.9% | △ 9.0 |
| 「国体も茨城県での開催も知らない」 | 16.7% | 17.3% | 8.6% | △ 8.7 |

【参考 2】年齢別認知度「国体も知っているし、茨城県で開催されることも知っている」

| 区分 | 18～29 歳 | 30～39 歳 | 40～49 歳 | 50～59 歳 | 60～69 歳 | 70 歳以上 |
|----|---------|---------|---------|---------|---------|--------|
| 男 | 50.0% | 63.4% | 74.3% | 69.1% | 78.3% | 82.1% |
| 女 | 49.3% | 64.4% | 76.4% | 72.7% | 70.3% | 80.6% |

(3) 天皇陛下御即位に伴う冠称付与

茨城国体及び全国障害者スポーツ大会に「天皇陛下御即位記念」の冠称が付与されることになり、6 月 13 日（木）の国体委員会で正式決定・公表される予定。

「天皇陛下御即位記念 第 74 回国民体育大会」

「天皇陛下御即位記念 第 19 回全国障害者スポーツ大会」

2 広報・県民運動事業等

(1) 広報活動の展開

両大会の機運醸成を図るため、広報活動を展開する。

① 広報媒体による宣伝

- ・ 広報紙やホームページ，新聞，ラジオ等による宣伝
- ・ ポスターや屋外広告物（のぼり旗等）の掲出

② イベントによるPR活動

ア 「浅田真央展」の開催

- ・ 期 間 平成30年6月8日～17日
- ・ 場 所 県庁舎25階展望ロビー
- ・ 内 容 浅田真央選手の写真，衣装等の展示による両大会及び冬季競技のPR

イ 「第2回ダンスコンテスト『そして未来へ』」の開催

- ・ 期 日 平成30年9月8日
- ・ 場 所 結城市民文化センターアクロスホール
- ・ 出場者 県内のダンスチーム（26チーム）
- ・ 内 容 イメージソング「そして未来へ」に合わせ「いきいきゆめダンス2019」によるコンテスト

ウ 「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 IBARAKI（茨城プレ大会）」

- ・ 期 日 平成30年9月15日
- ・ 場 所 つくば国際会議場
- ・ 出場者 県民等によるeスポーツチーム（41チーム）
- ・ 内 容 県民等向けプレ大会による認知度向上，機運醸成

③ オフィシャルショップの開設

| | | |
|----|---------------------------|-------------------|
| | 水戸駅 | 水戸京成百貨店 |
| 場所 | 水戸エクセルプラムストリート | 6階リビングフロア |
| 運営 | 水戸ステーション開発(株) | 水戸京成百貨店 |
| 商品 | 大会関連グッズ，茨城県産加工食品，いばらきの土産品 | 茨城クラブアート等の本県伝統工芸品 |
| 期間 | 4/25(木)～10/31(木) | 4/25(木)～10/28(月) |

④ チームいばらき新ユニフォームの製作

- ・ 両大会の開催に合わせ，茨城県代表選手団「チームいばらき」のユニフォームについて，デザインを一新（平成5年以来）
- ・ 開催100日前イベント（6/23開催予定）にて披露

⑤ 国体の情報発信

- ・ 国体全会場へのフリーWi-Fi設置
- ・ 国体競技の動画配信

(2) 県民運動の推進

県民の参加意識の高揚と開催機運の醸成を図るとともに、来県者を心のこもったおもてなしで迎えるため、県民運動を推進する。

① 「いきいきゆめダンス 2019」の普及

- ・小・中・高等学校等へのCD・DVD、リーフレット等の配布
- ・体育実技指導者講習会の実施(12回)
参加者：幼・小・中・高校の教師等(867人)
- ・体育授業や運動会等での実施状況

【保・幼・小・中・高・特(平成30年8月末現在878校)】

② 花いっぱい運動

- ・農業系高校での育苗(平成29年～31年)
- ・全市町村協力団体(小・中・高校、自治会等)による花苗の育成
各会場及び駅周辺等への飾花(平成29年～31年)

③ 花の応援団

個人や企業、団体等が管理している花壇等に、いばラッキーの立て札を設置し、両大会の開催機運醸成を図り、全国から来県される方を花いっぱいでおもてなしする取り組み。平成30年3月1日より募集を開始。

- ・配布枚数：2,374枚(289団体,28個人)平成31年3月31日現在

④ 応援ポスターコンクール

多くの児童生徒が、スポーツや両大会への関心を育み、県民運動や開閉会式への参加を促すきっかけづくりとなるよう、県内の小・中学校、特別支援学校小学部・中学部の児童生徒を対象とした「応援ポスターコンクール」を実施。

- ・総応募数：10,205点(H30年度6,465点,H29年度3,740点)
- ・展 示：県庁2階県民ホール、県庁25階展望室、笠松運動公園屋内プール1階エントランス・ホテルレイクビュー水戸等

⑤ 都道府県応援団の結成

国体の総合開・閉会式及び大会の開・閉会式に参加し、「おもてなし」の一環として、入退場する選手団を応援する。

- ・協力校数：25校【ひたちなか市13校、那珂市7校、東海村5校】
- ・参加児童生徒数(引率含む)：約7,000人

⑥ 全市町村小学生によるラジオ体操実演

国体の総合開会式における県内全市町村小学生によるラジオ体操実演参加。

⑦ 応援のぼり旗の製作

高校文化連盟美術・工芸部会加盟校に依頼し、58の高校の協力を得て製作。

(3) ボランティアの養成状況

① 運営ボランティア

全国から訪れる選手・監督等をおもてなしの心でお迎えするため、ボランティアを募集し育成する。

・登録者数：延べ6,428人（国体2,190人、障スポ4,238人）

② 広報ボランティア

学生を対象とした広報ボランティアを編成し、広報宣伝活動を行うことにより、両大会の開催周知と機運醸成を図る。

・人数：高校生 179人　うちジャーナリスト 11人
 大学生 10人　うちジャーナリスト 2人　計189人

・活動内容

広報ブースの運営，会場内やステージ上でのPR，大会ホームページやSNS等を活用した情報発信など

③ 情報支援ボランティア

聴覚障害のある方に手話や要約筆記をなどの情報保障を図るため、関係団体等の協力を得ながら、各種情報支援ボランティアを募集し養成する。

・登録者数：617人

④ 選手団サポートボランティア

障害者の理解促進や選手団等に対する介助・誘導等のサポートを行うため、県内の大学・短大・専門学校（18校）の協力を得て、学生で構成する選手団サポートボランティアを養成する。

・登録者数：894人（うち筑波技術大学の聴覚障害者の学生20人）

⑤ 競技補助員

審判等の補助として、記録用紙回収やボール出しなどを行うため、県内の高校の協力を得て、高校生を競技補助員として登録する。

・登録者数：8,300人（国体 7,000人／障スポ 1,300人）

(4) 障害者スポーツ普及定着事業

筑波大学に寄附講座を設置し、特別支援学校や福祉施設等における障害者スポーツ指導者の育成等に関する研究を行うとともに、障害者スポーツの拠点形成を図る。

① 寄附講座の名称

「アダプテッド体育・スポーツ学寄附講座」

※アダプテッド・スポーツとは、障害者等が参加することができるよう、ルールや用具、環境等を個々の障害の種類や程度に適合させて行うスポーツ活動のこと。

※寄附講座とは、筑波大学の教育研究を行う組織において、当該組織が教育研究に相当する活動を実施するものであり、当該活動に係る経費が寄附金により支弁されるもの。

② 寄附講座設置期間

2017年11月1日～2022年3月31日

③ 主な活動内容

- ・「さまざまな障害の子どもたちの体育指導講座」や特別支援学校への出前講座の実施
- ・「障害者スポーツボランティア実践講座」の開設
- ・「茨城県パラスポーツネットワーク(いばパラネット)」のホームページ開設

(5) 文化プログラム

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会文化プログラムは、県民総参加の実現に向け、文化・芸術活動を通じて多くの県民に両大会へ参加してもらうとともに、本県の魅力を全国に発信するものである(416事業)。

なお、eスポーツの全国大会である「全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2019 IBARAKI」についても、文化プログラムの一つとして開催が予定されている。

【参考1】「全国都道府県対抗eスポーツ選手権 2019 IBARAKI」の概要

① 目的等

- ・年齢や性別、ハンディキャップの有無にかかわらず、両大会に参加できる環境を提供し、大会開催の目標の一つである共生社会づくりのきっかけとする。
- ・また、「最初に国体で都道府県対抗のeスポーツ大会が行われた県」として本県を発信し、スポーツツーリズムの振興及びスポーツ活動への民間活力の導入を図る。

② 実施競技

サッカー(ウイニングイレブン2019)
カーレース(グランツーリスモSPORT)
アクションパズル(ぷよぷよeスポーツ)

③ 実施方法等

出場登録のあったチームによる予選会を実施し、各都道府県代表を選出、各都道府県代表(各都道府県原則1チーム)が茨城県内で実施される本戦に出場し、順位を決定する。

④ 大会までのスケジュール

- ・2019年4月～8月・・・予選会(各都道府県代表を決定)
- ・2019年10月4～6日・・・本大会(全国の代表48チームによる競技会)

3 式典概要

【いきいき茨城ゆめ国体2019（第74回国民体育大会）】

9/28(土)

総合開会式

| 時刻 | 次 第 |
|-------|-----------------|
| 9:00 | 開場 |
| 11:00 | オープニングプログラム開始 |
| 12:10 | 入場締切 |
| 12:50 | オープニングプログラム終了 |
| 12:59 | 天皇皇后両陛下御着席 |
| 13:00 | 式典前演技開始 |
| 13:30 | 式典前演技終了 |
| 13:31 | 天皇皇后両陛下御退席 |
| 13:50 | 天皇皇后両陛下御着席 |
| 13:51 | 開式通告 |
| 13:53 | 役員・選手団入場開始 |
| 14:19 | 役員・選手団整列完了 |
| 14:20 | 開会宣言 |
| 14:22 | 国旗掲揚 |
| 14:24 | 大会旗・日本スポーツ協会旗掲揚 |
| 14:25 | 茨城県旗・ひたちなか市旗掲揚 |
| 14:27 | 天皇杯・皇后杯返還 |
| 14:30 | 大会会長あいさつ |
| 14:33 | 文部科学大臣あいさつ |
| 14:36 | 炬火入場・点火 |
| 14:42 | 選手代表宣誓 |
| 14:44 | 閉式通告 |
| 14:45 | 天皇皇后両陛下御退席 |
| 14:46 | 役員・選手団退場開始 |
| 15:01 | 役員・選手団退場完了 |
| 15:02 | エンディングプログラム開始 |
| 15:32 | エンディングプログラム終了 |
| 15:33 | 終了 |

10/8(火)

総合閉会式

| 時刻 | 次 第 |
|-------|-----------------|
| 12:20 | 開場 |
| 13:00 | オープニングプログラム開始 |
| 13:45 | オープニングプログラム終了 |
| 13:59 | 皇族御着席 |
| 14:00 | 開式通告 |
| 14:01 | 役員・選手団入場開始 |
| 14:11 | 役員・選手団整列完了 |
| 14:12 | 成績発表 |
| 14:17 | 表彰状授与 |
| 14:27 | 天皇杯・皇后杯授与 |
| 14:31 | 大会会長あいさつ |
| 14:34 | スポーツ庁長官あいさつ |
| 14:37 | 茨城県旗・ひたちなか市旗降納 |
| 14:39 | 大会旗・日本スポーツ協会旗降納 |
| 14:40 | 国旗降納 |
| 14:42 | 炬火分火・納火 |
| 14:46 | 国体旗引継 |
| 14:48 | 鹿児島県旗掲揚 |
| 14:50 | 閉会宣言 |
| 14:51 | 閉式通告 |
| 14:52 | 皇族御退席 |
| 14:53 | 役員・選手団退場開始 |
| 15:06 | 役員・選手団退場完了 |
| 15:07 | 終了 |

【いきいき茨城ゆめ大会2019（第19回全国障害者スポーツ大会）】

10/12(土)

開会式

| 時刻 | 次 第 |
|-------|--------------------|
| 7:30 | 開場 |
| 8:50 | オープニングプログラム開始 |
| 9:05 | 入場締切 |
| 9:50 | オープニングプログラム終了 |
| 9:59 | 皇族御着席 |
| 10:00 | 開式通告 |
| 10:01 | 役員・選手団入場開始 |
| 10:31 | 役員・選手団整列完了 |
| 10:32 | 開会宣言・大会会長あいさつ |
| 10:35 | 国旗掲揚 |
| 10:37 | 大会旗・茨城県旗・ひたちなか市旗掲揚 |
| 10:40 | 文部科学大臣あいさつ |
| 10:43 | 皇族のお言葉 |
| 10:46 | 炬火入場・点火 |
| 10:51 | 選手代表宣誓 |
| 10:55 | 歓迎演技開始 |
| 11:10 | 歓迎演技終了 |
| 11:11 | 閉式通告 |
| 11:12 | 皇族御退席 |
| 11:13 | 役員・選手団退場開始 |
| 11:28 | 役員・選手団退場完了 |
| 11:29 | エンディングプログラム開始 |
| 11:49 | エンディングプログラム終了 |
| 11:50 | 終了 |

10/14(月・祝)

閉会式

| 時刻 | 次 第 |
|-------|--------------------|
| 14:00 | 開場 |
| 15:00 | オープニングプログラム開始 |
| 15:20 | オープニングプログラム終了 |
| 15:29 | 皇族御着席 |
| 15:30 | 開式通告 |
| 15:31 | 大会会長あいさつ |
| 15:34 | スポーツ庁長官あいさつ |
| 15:37 | 皇族のお言葉 |
| 15:40 | 大会旗・茨城県旗・ひたちなか市旗降納 |
| 15:43 | 国旗降納 |
| 15:45 | 大会旗引継 |
| 15:48 | 炬火納火 |
| 15:51 | 閉会宣言 |
| 15:58 | ファイナルステージ開始 |
| 16:28 | ファイナルステージ終了 |
| 16:29 | 皇族御退席 |
| 16:30 | 役員・選手団退場開始 |
| 16:45 | 役員・選手団退場完了 |
| 16:46 | 終了 |

4 競技施設の整備状況等（令和元年5月末現在）

| 整備区分 所有者 | 常設施設 | | | | 常設計 | 仮設 | 合計 |
|-------------|-------|-------|---------|---------|---------|----|---------|
| | 新築 | 改築 | 改修 | 既設 | | | |
| 県 | 0 | 1 (1) | 10 (10) | 7 (7) | 18 (18) | 1 | 19 (18) |
| 市町村 | 1 (1) | 2 (2) | 30 (26) | 8 (8) | 41 (37) | 11 | 52 (37) |
| 民間 | 0 | 0 | 0 | 3 (3) | 3 (3) | 0 | 3 (3) |
| 合計 | 1 (1) | 3 (3) | 40 (36) | 18 (18) | 62 (58) | 12 | 74 (58) |

※（ ）内数字は整備完了。

- 常設競技施設（62施設）は、58施設が整備済み。整備未了の4施設は、ソフトボール競技会場となる野球場のピッチャーマウンドの撤去・復旧のため、競技開催に合わせて整備する。
- 仮設競技施設（12施設）は、主にカヌーやボート、トライアスロンなど河川や道路を競技会場とするなど既存の施設がないもので、今後、競技開催に合わせて整備する。
- トイレの洋式化は、競技施設の整備と併せて各管理者が利用者のニーズ等に応じて進めている。県施設は95％、市町村等施設は74％、合計82％が洋式化の見込み。

| | H29年度当初 | 開催時見込 |
|--------|---------|-------|
| 県施設 | 65.9% | 95.1% |
| 市町村等施設 | 60.8% | 74.4% |
| 合計 | 62.6% | 81.5% |

5 開催スケジュール

| 2019年 | 主なスケジュール | |
|-------|--|-------------------------------|
| 4月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国体・大会実施本部の設置</div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-top: 5px;">「全国都道府県対抗eスポーツ選手権2019 IBARAKI」茨城県特別先行予選 【グランツーリスモ：3/31, ぶよぶよeスポーツ：4/6, ウイニングイレブン4/13】</div> | 文化プログラム事業（1月1日～12月末） 416事業 |
| 5月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">国体・大会開閉会式観覧者の募集（4/24～6/28）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第74回国民体育大会デモンストレーションスポーツ（5/19～10/6）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第19回全国障害者スポーツ大会リハーサル大会（5/25～26）</div> | |
| 6月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">競技別リハーサル大会 【馬術】（那珂市）6/1～6/2 【レスリング】（水戸市）6/8～6/9 【スポーツクライミング】（鉾田市）6/8～6/9</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">国体・大会開催100日前セレモニー（6/23）</div> | |
| 7月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">競技別リハーサル大会 【水泳（オープンウォータースイミング）】（潮来市）7/7</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">国体・大会実行委員会 第6回常任委員会・第4回総会（7/26）</div> | |
| 8月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">茨城県選手団結団式（8/下旬）</div> | |
| 9月 | <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">式典総合練習会 【国体】 8/31 【大会】 9/1</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第74回国民体育大会公開競技（8/31～9/15）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">第74回国民体育大会会期前実施競技（正式競技）（9/7～16）</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;">国体・大会総合リハーサル 【国体】9/21 【大会】9/22</div> | |
| 10月 | <div style="background-color: #d9e1f2; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">第74回国民体育大会 9月28日（土）～10月8日（火）（11日間）</div> <div style="border: 2px solid orange; padding: 5px; margin-left: 10px; margin-bottom: 5px;">全国都道府県対抗 eスポーツ選手権 2019 IBARAKI 開催日：10/4～6</div> <div style="background-color: #d9e1f2; padding: 5px;">第19回全国障害者スポーツ大会 10月12日（土）～14日（月・祝）（3日間）</div> | |

6 いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実施本部

両大会の開催にあたり、全庁的な実施組織として「いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会実施本部」を4月1日に設置。

(1) 組織（別添「組織図」）

本部長：知事，副本部長：両副知事，統括部長：国体局長

本部付：教育長ほか各部局長

| |
|---|
| 文部科学大臣，スポーツ庁長官， 日スポ協会長，国体委員長， 後催県知事等の来賓対応 |
|---|

○式典当日の体制

国体：4チーム 最大約1,300名
 （国体局員 約100名，他部局職員 約1,200名）

障スポ大会：5チーム 最大約1,900名
 （国体局員 約100名，他部局職員 約1,800名）

○主な業務

「来賓対応」「式典運営」「会場警備」「選手・観客等の輸送」「選手団の案内・誘導」など

(2) 各部局庁への協力要請

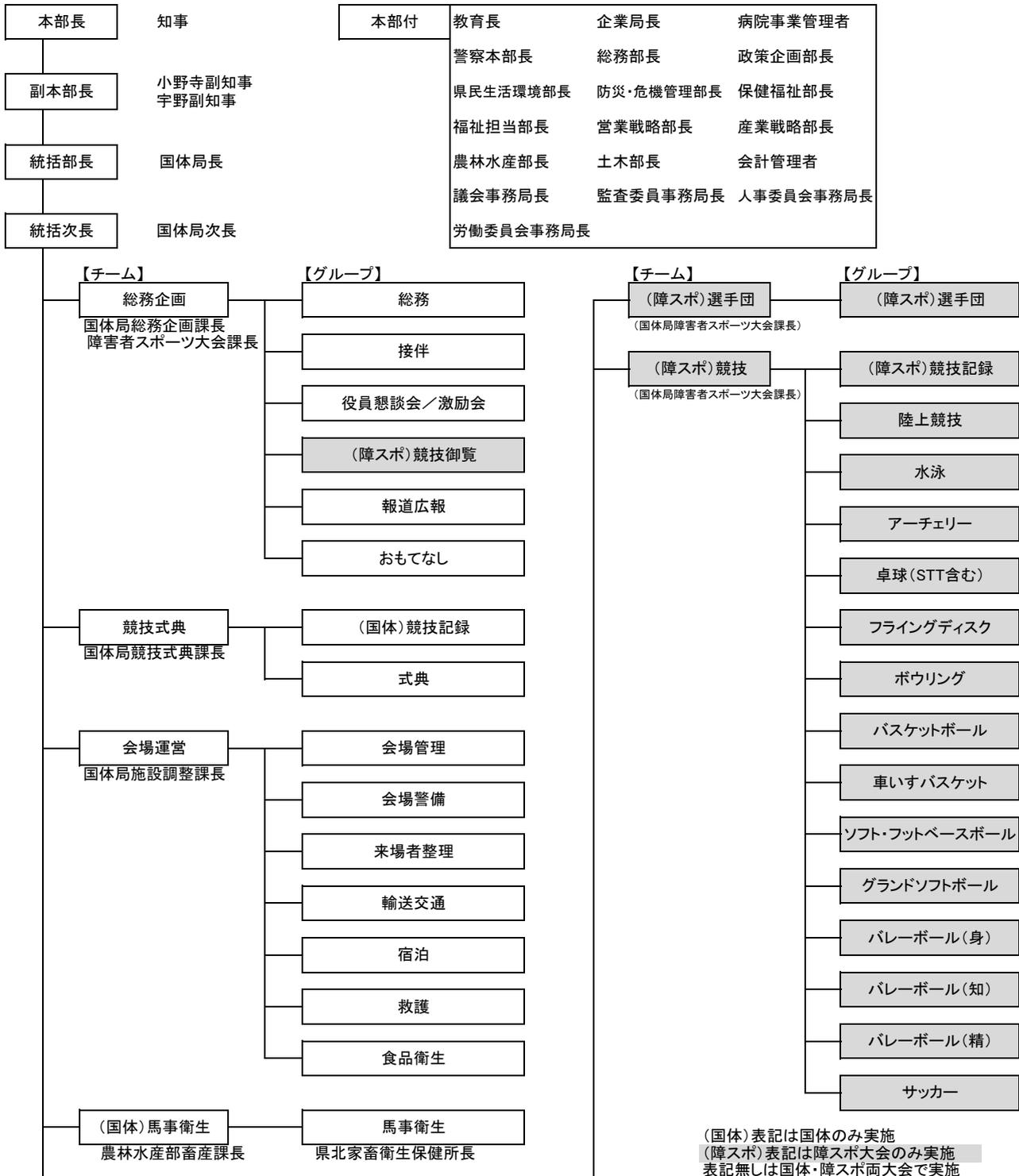
○原則として、警察を除く全部局庁に協力を依頼。

○ただし病院，福祉施設，危機管理部門など24時間対応が必要な部署は業務に支障がでないよう配慮。

主な活動日と職員の配置人数

| 国体 | 人数 | 障害者スポーツ大会 | 人数 |
|-----------------|-------|-----------------|-------|
| 総合リハーサル 9/21(土) | 900 | 総合リハーサル 9/22(日) | 800 |
| 総合開会式 9/28(土) | 1,300 | 開会式 10/12(土) | 1,900 |
| 総合閉会式 10/8(火) | 750 | 閉会式 10/14(月・祝) | 1,600 |

いきいき茨城ゆめ国体・いきいき茨城ゆめ大会 実施本部組織図



7 茨城国体・障スポ大会の新たな取り組み

茨城国体・障スポ大会の新たな取り組み

茨城国体・障スポ大会は、令和時代の幕開けにふさわしく、これまでに例のない数々の新しい取り組みを進めております。

スポーツの振興

- ◆新規競技の追加
水球（女子），トランポリン，自転車ロード（女子），卓球（精神障害者）
- ◆優秀選手へのメダルの授与
- ◆障スポの指導者育成等を目的とした寄附講座の設置（筑波大学）

茨城の魅力発信

- ◆都道府県対抗eスポーツ選手権の実施
- ◆ユニフォーム一新，販売
- ◆浅田真央展の実施
- ◆「るるぶ特別編集観戦ガイドブック」の作成
- ◆「障スポ×ガルパン」コラボによるイメージアップと観覧者増加対策

県民総参加

- ◆筑波技術大学の協力のもと聴覚障害をもつ学生のボランティア参加
- ◆特別支援学校の生徒のボランティア参加
- ◆全市町村小学生によるラジオ体操実演
- ◆花の応援団事業の実施

来場者の利便性向上

- ◆入場料及びおもてなし広場でのキャッシュレス決済の導入
- ◆国体全会場へのフリーWi-Fi設置
- ◆国体競技の動画配信

業務の効率化

- ◆専用ソフト導入によるボランティアの効率的配置
- ◆効率的な実施本部組織の運営
- ◆事前配席による受付業務の効率化